

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	現代社会A(0215)	
科目基礎情報							
科目番号	0060			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース			対象学年	3		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	池田幸也(編)『政治・経済資料集2017』, 清水書院, 2017. 用語集「現代社会」編集委員会(編)『用語集現代社会+政治・経済』, 清水書院, 2017.						
担当教員	平川 武彦,高橋 要						
到達目標							
(I) 現代の社会や文化および自分自身の心理について、客観的に考え、それを他人に説明できるようになること。 (II) 政治経済について基本的な知識を習得し、説明できるようになること。新聞やニュースなどの政治経済関係の内容及び経済統計を理解でき、一部は説明できるようになること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	社会学および社会思想についての基礎的知識を持ち、それもとに現代社会の諸問題を考えることができる			社会学および社会思想についての基礎的知識を持っている		社会学および社会思想についての基礎的知識に不足がある	
評価項目2	政治および経済についての基礎的知識を持ち、それもとに現代社会の諸問題を考えることができる			政治および経済についての基礎的知識を持っている		政治および経済についての基礎的知識に不足がある	
評価項目3	心理についての基礎的知識を持ち、それもとに現代社会の諸問題を考えることができる			心理についての基礎的知識を持っている		心理についての基礎的知識に不足がある	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 A 学習・教育到達目標 D							
教育方法等							
概要	社会人としてより良い生活を送るために必要不可欠な(I)社会全体、心理(青年心理)、(II)法律、政治、経済や国際関係の基礎的な知識を習得する。工業技術者として活動するうえでも基礎となるものである。家庭、地域、職場で主体的に生きる手がかりと確かな思考力を身につけることを目指す。						
授業の進め方・方法	(I) 社会学および心理学の基礎的知識を講義したあと、いくつかのテーマについてグループワーク(さまざまな媒体を用いて各自が調べてきたことをもとに、グループで討論する)を行う。(高橋担当) (II) 政治、法律や経済の基本的知識や考え方を教科書や資料集を使い学習する。報道された事件や社会問題を事例として解説し、技術が社会情勢や仕組みと密接に関係することについて考えを深める。毎回、経済統計の確認を行い、経済の動きを知ること。						
注意点	(I) 授業で得た知識を基にして、提起されたテーマについて書籍やネットなどを利用して調べ、それを他人に伝え、ともに考える姿勢が必要とされる。 (II) 新聞やテレビ・ラジオの報道・ニュースから現代社会の政治経済の動きに関心を持ち情報を集めておくこと。為替(円とドル、ユーロ、中国元)、原油と金価格、東京証券市場第一部の株式市場の状況を調べておくこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	(I) 社会とは何か。社会科学における社会学の位置とその範囲。		社会学と他の社会科学との違いを理解し、その意義を理解する		
		2週	(II) 現代社会の学び方について、現代社会における政治、法律、経済の基礎の基礎				
		3週	(I) グループワーク(現代社会の諸問題)		金正男氏殺害の背景とIS国のテロリズムを理解する		
		4週	(II) 政治 民主主義と人権思想の発達				
		5週	(I) 社会思想、社会規範、文化、コミュニケーション		社会学における「社会」と社会構造を理解する		
		6週	(II) 民主政治の基本原則、法の支配と社会契約論				
		7週	(I) グループワーク(家族の意味)		同性婚への賛否から結婚および家族の意味について考えを深める		
		8週	(II) 日本の近代国家としての成立と大日本帝国憲法				
	2ndQ	9週	(I) 「こころ」のありか。心理学の視点と方法。		心理学における「こころ」および情動と動機付けを理解する		
		10週	(II) 日本国憲法の成立とその特徴				
		11週	(I) グループワーク(欲求)		欲求と欲求不満との関係を理解し、不満解消の方法を探る		
		12週	(II) 法律と日常生活、少年法と死刑制度について考える。				
		13週	(I) 欲求不満と自我防衛機制		欲求不満の構造と防衛機制的意義を理解する		
		14週	(II) 日本の政治機構、日本の政治状況と課題				
		15週	到達度試験				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験(I)	レポート(I)	試験(II)	小テスト、レポート(II)		合計	
総合評価割合	25	25	40	10		100	
基礎的能力	25	25	40	10		100	

專門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0